

漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解にします。

1	徳川綱吉 <small>つなよし</small>	25	1722	49	上地令 <small>あげち</small>
2	生類憐みの令※ <small>しょうるいあわれ</small>	26	上米 <small>あげまい</small>	50	1837
3	朱子学 <small>しゅうしがく</small>	27	1742	51	大塩平八郎の乱 <small>おおしおへいはちろう</small>
4	寺子屋 <small>てらこや</small>	28	公事方御定書 <small>くじかたおさだめがき</small>	52	天保 <small>てんぽう</small>
5	相撲 <small>すもう</small>	29	田沼意次 <small>たぬまおきつぐ</small>	53	ウ
6	七五三 <small>しちごさん</small>	30	株仲間 <small>かぶなかま</small>	54	エ
7	国学 <small>こくがく</small>	31	1783	55	オ
8	本居宣長 <small>もとおりのりなが</small>	32	浅間山 <small>あさまやま</small>	56	イ
9	新井白石 <small>あらいはくせき</small>	33	百姓一揆 <small>いっせき</small>	57	ア
10	正徳の治 <small>しょうとくち</small>	34	打ちこわし	58	ウ
11	金銀	35	天明 <small>てんめい</small>	59	ウ
12	元禄 <small>げんろく</small>	36	からかさ連判状 <small>れんばんじょう</small>	60	ア
13	紀伊 <small>きい</small>	37	3200	61	ア
14	享保の改革 <small>きょうほうかいかく</small>	38	松平定信 <small>まつだいらさだのぶ</small>	62	イ
15	蘭学 <small>らんがく</small>	39	寛政の改革 <small>かんせい</small>	63	エ
16	青木昆陽 <small>あおきこんよう</small>	40	白河 <small>しらかわ</small>	64	エ
17	前野良沢 <small>まえのりょうたく</small>	41	困米の制 <small>かこまい</small>	65	オ
18	杉田玄白 <small>すぎたげんぱく</small>	42	1789	66	イ
19	ターヘルニアナトミア	43	棄捐令※ <small>きえんれい</small>		
20	解体新書 <small>かいたいしんしょ</small>	44	徳政令 <small>とくせいれい</small>		
21	シーボルト	45	朱子学 <small>しゅうしがく</small>		
22	鳴滝塾 <small>なるたきじゅく</small>	46	水野忠邦 <small>みずのただくに</small>		
23	伊能忠敬 <small>いのうただたか</small>	47	天保の改革 <small>てんぽう</small>		
24	目安箱 <small>めやすばこ</small>	48	人返し令 <small>ひとがえ</small>		

記述 1 身分みぶんや父と子の上下関係を重んじる朱子学の教えが、幕府の支配しやくふに都合が良かったため。

記述 2 武士の給料きやうりやうは米で払われており、米の価格かかくによって実質的な賃金ちんきんが上がったり下がったりするため。

記述 3 対等たいとうの団結だんけつを誓ちかい、一揆いっせきの指導者がだれだか分からなくするため。

記述4 寛政の改革があまりに厳しくて、田沼意次の政治が恋しい。

記述5 幕府の元役人が、幕府が直接治めている天領の大阪で、反乱をおこしたため。

記述6 幕府の力が衰えていること。